

分会情報

J R 東海 新幹線 関西 地本 大阪 修繕 車両 所 分会

No. 14 2009. 11. 13.

発行責任者 坂東 貞男

編集責任者 教 宣 部

セキュリティカードの機械確認は本当にセキュリティのためか！？



11月に入りICチップ内蔵の鳥飼基地従事員証(セキュリティカード)の本格使用が始まり、通勤バス・通勤回送・東門・西門・新事務所棟1階エレベーター前などでセキュリティカードの機械による確認を行わなければならなくなり社員の負担は増えました。

これに先立ち私たち修繕車両所分会は「新事務所棟に関するセキュリティ及び監視カメラ設置に関する申し入れ」を会社に申し入れ、ICチップ内蔵セキュリティカードの運用方法等の説明を目指したのですが、会社は『付議事項ではない』として業務委員会を開催せず何ら説明しようとしませんでした。また、現場においても説明らしい説明はなく、社員が説明を求めても『……じゃないか?』と的確に運用方法を説明できる管理者はいなかったのです。

そのために昼休みや勤務前等でのトレーニングをして、新事務所棟1Fエレベーター前のゲートを通ろうとしてトラブルになったりしています。

また、通勤バス利用で東門通過時、大型バスの場合はそのまま入構するので東門での確認はないですが、マイクロバスの場合は東門前で降車して入構するため確認が必要となっています。このように同じ通勤バスを利用しても確認回数が違っており、何のためのセキュリティカードの機械確認かわからないというのが通勤バス利用者の感想です。

セキュリティの名のもとに行われる社員監視・管理反対！！

アメリカでの9・11テロ以降、日本でもセキュリティ強化が言われ、日本の大動脈を担うJR東海としてもセキュリティ強化の必要性は大いにあります。

しかし、私たちの身近で行われている「セキュリティの為」と言われる施策には、本当に防犯目的かと疑問に思われることも多くあるのではないのでしょうか？！

なぜ、私たちの入る6階フロアだけ何台もの監視カメラが設置されているのでしょうか？ 私たちは、便所に行くにも・風呂に行くにも・洗濯するにも監視カメラに写されています。監視カメラに写らずに移動することは不可能です。一方、協力会社の入っている階下のフロアにはほとんど監視カメラが設置されていないそうです。

防犯が目的とするなら1階入り口・エレベーター前、エレベーター内、各フロアのエレベーター前ぐらいで十分だと思います。監視カメラは社員を監視するために設置されているとしか思えません。また、退出時にも行うことになっているセキュリティカードの機械確認などは、どう考えてもセキュリティには関係ないように思います。退出時のセキュリティカードの機械確認は社員の退出時間の管理と言えます。皆さんはどう思いますか！？

私たち東海労大阪修繕車両所分会は、セキュリティ施策は必要だと思いますが、セキュリティの名のもとに行われる社員監視・管理には反対です。また、社員を服従させるのが目的のような退出時などの無意味なセキュリティカードの機械確認も反対です。